

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 東幸会	代表者	伊藤 友子	法人・ 事業所 の特徴	八戸市常番町に位置し、中心街から徒歩5分の閑静な住宅地にあることから、交通の便も良く、市立図書館バス停より徒歩1分と、面会者や来客者にも便利な場所に建っています。地域活動としましては同町内会への加入はもとより、地域住民の介護相談へも積極的に取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム サンシャイン	管理者	前田 靖子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	4人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタッフと2人組で2項目ずつ担当して実施は継続。意見の擦り合わせも、LINEWorksで担当者が実施する事をスタッフに周知し、協力し合い時間を作る。</li> <li>●LINEWorksの文字だけのやりとりでは、思いまでは届かない為、対面での意見交換も交えながら、現状よりも上手くLINEWorks使い、スタッフの思いの共有や、業務内容軽減などに活用していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆前年度同様に、職員2名1組で項目を分けて実施した。経験者と未経験者を組み合わせる事でスムーズに実施出来たと思っている。</li> <li>◆LINEWorks使う事も、徐々に慣れてきていると感じている。発信者が限られている事もあるが、申し送りには活用出来ていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*皆様からの意見は聞かれず。(現状で良いのでは?)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前回同様に2人組で2項目ずつ担当していく事は継続。意見の擦り合わせも、LINEWorksで担当者が実施する事をスタッフに周知し、協力し合い時間を作る。</li> <li>●LINEWorksの使用について、個人差が無いように、全職員が意識して活用していく。また、必要なグループがある場合は、随時増やしていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐車場に関しては交渉継続困難と考え、通路を使用せず車両の出し入れに充分気を付け、ミラーも設置済みの為活用をして事故を起こさぬようする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ミラーを設置したが、見にくいが危険性は減ったとスタッフの意見があった。設置条件や許可について調べ、速やかに設置できるのが現在の物だった。</li> <li>◆駐車場の台数を増やして行きたいと考えているが、上手く進んでいない。また、車両を玄関前のスペースにした上で、急な出来事にもすぐに出発が出来て良いと思う事もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*駐車場については不便だと思う。どうにかして通れるように出来ないものか。</li> <li>*ミラーは見にくいと思って見ている。事故を起こさないように配慮して欲しい。</li> <li>*門扉にぶつけたり、こすったりするスタッフはいないのか？門扉を広げるだけで、車両の出入りが楽になるのでは？</li> <li>*もう一度貸主にお願い出来ないのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミラーに慣れ、最大限の注意を払って、出入りをして行く。玄関前にご家族様、お客様が駐車した場合は可能な限り、道路まで誘導し事故防止に努める。</li> <li>●駐車場については、通り抜けは不可能だと思われる為、駐車台数の確保をし、ご家族様、お客様に不便を掛けないように改善していく。</li> </ul>

C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ感染症が五類感染症に変わった時には、法人の方針に則り、当事業所のできる範囲で、対応を検討し地域の方々と交流を図れるように検討していく。</li> <li>●地域との関わりを常に意識し、協力依頼や地域の為に出来ることを利用者様の利用状況を鑑みて対応をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域交流祭を感謝祭と名称を変更して、実施出来た。普段お世話になっている方々をお誘いし、利用者様が全員、外でBBQを楽しめる事が出来たと思っている。</li> <li>◆町内のイベントや、公民館のイベントに必要物品を貸し出し、当事業所のイベントにも協力していただけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域と施設が密着している雰囲気が伝わって来た。今後も、お互いが支え合って地域を盛り上げて欲しい。その、一部に我々も協力出来ればと思う。</li> <li>* 色々と協力をして貰って助かっている。今後もお願ひしたい。</li> <li>* 施設フェンスの掲示板にもイベント等の張り紙をして貰い助かっている。</li> <li>* 公民館祭りの時等、利用者と一緒に作った物など展示を検討しているので、その時は協力して欲しい。</li> <li>* イベント等に町内以外の方の参加は出来ない…みたいな風潮を感じている。広く参加してもらいたいと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の繋がりを大切にし、町内会の入会の継続、地域交流祭又は感謝祭を実施し施設に対しての理解を深めて頂く。</li> <li>●地域のイベントや会議には可能な限り参加し、今まで以上に地域に必要とされる施設へと成長していく。</li> <li>●掲示板は古くなっている為、地域交流委員で検討し綺麗にしていく。</li> <li>●町内会のイベントに、他地区の方々も参加していただける様に協力をして行く。</li> <li>●公民館祭りなど、お声掛けをいただけるのであれば、作品などを出展して行きたい。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個別外出は利用者様の思いを引き出さなければならない為、関わりを充分に行い、利用者担当の意味を理解し意識を高め、自宅内外での社会との繋がりを継続出来る様に、支援していく。</li> <li>●利用者様住居地の民生委員を高齢者支援センターの協力を得て把握し、協力をし合いながら地域でも支えていける環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個別外出の実施は思ったよう出來ず。どう対応したら良いのか…と毎年悩んでいる内容です。出来る人、出来ない人が極端に分かれるものとなっている。</li> <li>◆民生委員の把握には至らず、利用者様の住居地域での支援は出来ていない。事業所周辺の情報しか得る事が出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 利用者の地域についての把握は難しいと思う。事業所で出来る事を行ってみでは?</li> <li>* 地域としても、高齢者や子供達が一緒に楽しめる環境を作りたいと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個別外出は全利用者様が思いの場所に行く事が出来る様に思いを探り、用紙を作成し実施出来る様にしていく。</li> <li>●地域の他のイベントを確認し、地域交流祭の時期や内容を再検討し実施に向けて考えていく。利用者、子供達、近隣の方々に楽しんで頂ける企画を提案していく。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ感染症が二類から五類へ変更予定もあり、五類変更時は、法人の方針、サンシャインの方針を指針にし、また、政府、自治体の方針を確認し、対応していく。</li> <li>また、委員の方からもご意見を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆対面で出来る事にたいして、嬉しさと緊張を抱えて毎回実施している。ご家族の参加もあり、有意義な時間を過ごしていくと実感している。また、他職員も参加したいと希望があり、今後、勤務を調整し、職員の参</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 会議の日程を変更出来ないのか?平日だと参加出来る人が限られたりしてはいないか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●検討した結果、奇数月の第3金曜日 15時開催は変更せずに実施。土日の休みを1時間前後の会議の為に、時間を費やし予定も組めなくなるよりは、きちんと休日を過ごして欲しいと結論。よって、次年度も変更せず</li> </ul>

	<p>いただきながら、対面の開催実施再開の時期を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●対面での開催が決まった時には、スタッフも参加出来る様に、勤務に配慮しシフトを作成する。</li> </ul>	<p>加も検討していきたい。今後の、この会議を活かした取り組みについて、ご意見を頂きたく。</p>		に対面で実施する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月行っている BCP シミュレーションは、コロナ感染症に限らず、想定される感染症をテーマに行い、災害時、感染時のシミュレーションを行っていく。</li> <li>●長者地区自主防災組織立ち上げ時、出来る限りの連携を行っていく。</li> </ul>	<p>◆BCP マニュアル作成、また、シミュレーションは紙面ですが実施出来ている。災害時の動きに関しては、毎月の避難訓練時や緊急連絡網の抜き打ち実施等の訓練の実施が出来ている。今後、消防に予約をし、実際の通報訓練も実施していくと思う。</p> <p>◆長者地区自主防災組織についての情報がなく協力出来ていない。</p>	<p>*長者公民館でも通報訓練を行っているので、一緒に訓練出来る時は行ってみても良いのでは？</p> <p>*BCP シミュレーションを行っているが、どの様な効果が見られているのか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自事業所以外の合同避難訓練などあった場合には積極的に参加していく。</li> <li>●BCP シミュレーションは継続。その度にマニュアルを見る事によって、変更された最新の内容等常にみる事ができ、有事の際は慌てずに、各々が行動出来るようにしていく。</li> </ul>

令和 5 年度

## 小規模多機能型居宅介護のサービス評価

# 事業所評価一覧表

\*これまでの取り組みや関わりをスタッフ個人で振り返り、事業所全体の評価として実践状況を確認し、1項目ごとにまとめたものです。

実施事業所

社会福祉法人 東幸会 小規模多機能ホーム サンシャイン

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 10月 23日 ( 13:30~14:20 )
------------------	-----	-------------------------------

1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	前田、荻ノ沢、地代所、柏崎、畠中、佐々木
-------------------	------	----------------------

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	9人	2人	人	11人

#### 前回の改善計画

- 利用者の情報や対応、業務連絡が素早く職員に届き統一したケアが実施できるよう LINEWorks を躊躇なく活用し積極的に発信できていない職員には理由を聞き、解消しきちんと発信できるように指導していく。
- 職員は送迎時や連絡ノートで家族との関りを深め、利用者、家族に満足したケアを提供出来るよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>LINEWorks を活用する事で、利用者、家族の対応等の情報共有を素早く行う事が出来ている。</li> <li>LINEWorks を多く活用する職員と、活用しない職員の個人差が見られた。</li> <li>送迎時を利用して、家族との関わりを持つ。連絡ノートも活用し、情報交換している。</li> </ul>	

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		✓			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		✓			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか？		✓			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		✓			11

#### できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- LINEWorks を活用する事で、利用者、家族の情報やケア内容を職員間で情報共有できている。
- 利用者用、施設用と分けた事により、確認しやすく、情報を取り入れやすくなっている。
- 送迎時、家族との関りを深める為、出来るだけ会話をするようにしている。連絡ノートも活用し家族との情報交換も行っている。ノートの記載方法を改めた事により、確認、記載がしやすくなっている。
- 連絡ノートでの家族からの情報も、確認ミスが起こらないように確認方法を改めている。

#### できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用者、家族に満足したケアを提案出来るよう努めているが、情報交換が不十分な事もあり、実際、どの様に感じているのかまでは確認出来ていない。利用開始が急な事が多く、ミーティングが不十分になっている。
- LINEWorks を多く活用する職員、活用に消極的な職員と個人差が見られ、情報収集不足になっている。

#### 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 家族からの情報、意向を確認する為、アンケート調査を実施する。
- LINEWorks を活用し、統一したケアが出来るよう情報を共有する。活用する職員の個人差があるため、情報や対応を発信する側の意図を読み取り、受信する側は認識を高め、情報収集をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 23 日 ( 13:30~14:20 )
------------------	-----	----------------------------------

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	前田、荻ノ沢、地代所、柏崎、畠中、佐々木
-----------------------	------	----------------------

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4 人	7 人	人	11 人

前回の改善計画
・送迎時や連絡ノートで利用者や家族との関りを増やす事により、自宅での様子、利用者・家族の思い、「～したい」の情報収集を行い、台帳へ追記し LINEWorks でも発信して共有し、小さなことからでも実現できるようにしていく。

  

前回の改善計画に対する取組み結果
・送迎時、出来る限り家族と関わり自宅での様子などを情報収集している。連絡ノートにて家族と情報交換も行っている。LINEWorks を活用し、知り得た情報を職員間で共有出来ている。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？			✓		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？			✓		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？			✓		11
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？			✓		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・送迎時、家族と関わり、自宅での様子を確認するようになっている。家族からの情報、要望等を LINEWorks にて職員間で共有し、対応する事が出来ている。 LINEWorks は施設用、利用者用と項目を分けた事により、確認しやすくなっている。 ・連絡ノートは線を引き、記載方法と確認方法を改めた事によって、未確認による申し送り忘れが改善された。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の事を深く探ろうとせず、情報収集が不十分の為。利用者の「目標」、「～したい」が解っていない。 ・情報発信されても、受信する側の積極性や認識で職員に個人差がある。台帳への追記も決まった職員となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者の「何もやりたくない」「どこにも行きたくない」で終わらせず、どうしてなのかを探り、もっと深く知るための情報収集を行う。 ・担当の思いにバラツキがある。担当は、家族、利用者とじっくり話し合う機会を作り、情報を聞き出し、一人で支援するのではなく、他職員と声を掛け合って、職員全体で支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5年 10月 23日 (13:30~14:20) 令和 5年 10月 28日 (15:00~15:10)
3. 日常生活の支援	メンバー 前田、荻ノ沢、地代所、柏崎、畠中、佐々木、山上、木村

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	1人	1人	11人

#### 前回の改善計画

- 送迎時、検温の時間を利用し、家族との会話を心掛け、以前の暮らし方や自宅での様子等、情報収集を試みる。家族と直接話が出来ない場合は連絡ノートを活用する。電話連絡時で情報収集し知り得た情報はミーティングやLINEWorksを使い職員間で共有する。
- 通い利用時、全利用者と関わりを持ち、会話の中で一つでも情報を引き出せるような雰囲気作りに努める。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

- 送迎時等の家族と接する時には情報収集に努め、ミーティングやLINEWorksで情報共有できている。連絡ノートの形式を変えた事でも情報交換に繋がっている。家族の状況によっては情報収集しにくい場合もあり、把握が難しいこともあった。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			✓		11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	✓				11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?		✓			11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	✓				11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できますか?	✓				11

#### できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 日々の利用者の変化に気付き、LINEWorksやミーティングで情報共有している。また、連絡ノートの形式を変え、工夫した事で家族との連絡がスムーズになり、情報交換に役立っている。

#### できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用者の以前の暮らし方の把握に努めているが、家族の状況によっては情報が集まりにくいことがあり10個以上の把握に至っていない。また、声にならない声を職員各自で感じていることがあっても、明確になっていないものは後回しになりがちで、リアルタイムでの職員間情報共有には結び付いていない。

#### 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 担当者会議等で自宅訪問する際には同行し、自宅での様子や生活環境を把握し、支援に繋げていく。知り得た情報は発信し、共有していく。
- 通い利用時にはコミュニケーションを多くとるように努め、以前の暮らし方を引き出せるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5年 10月 23日 (13:30~14:20) 令和 5年 10月 28日 (15:00~15:10)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 前田、荻ノ沢、地代所、柏崎、畠中、佐々木、山上、木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	9人	1人	11人

前回の改善計画

- ・民生委員、地域資源について、施設内で一年に一回以上勉強会を開催し、学ぶ時間を作る。
- ・事業所内での過ごし方を重視している為、生活（人生）の把握に至らず、利用者の発する言葉の意味を深く考えていなかった。
- ・ケアマネジャーが自宅訪問する時等に、現在よりも職員同士が協力をし、同行出来る時間を作り、介護側の視点で自宅での生活も把握し、言葉の裏に隠された真意をひもときシートを活用し、理解を深めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域資源は必要な場面では活用する事は出来たが、利用者全ての民生委員の把握までは必要な場面もなくできていない。自宅訪問時に職員が同行し、自宅での生活の把握に努めているが、ひもときシートの活用に結び付いていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		✓			11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		✓			11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		✓			11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？			✓		11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・担当者会議やモニタリングの際は担当職員も同行し、自宅での過ごし方の把握に努めている。また、介護者や家族、施設の役割を相互理解する事で、利用者と介護者・家族との関係をつなげる事が出来ている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・全ての職員が自宅訪問時に同行出来ていない。同行が出来ていない職員は施設のみの生活に偏った考え方をしてしまう傾向にある。民生委員に関しては、情報も乏しく活用までには至っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・民生委員、地域資源については引き続き勉強会の開催や研修等へ参加し、各々が学ぶ時間を作っていく。
- ・引き続き、担当者会議やモニタリングの際は担当職員も同行する。日々の情報は連絡ノートを活用し、施設内での過ごし方を家族に伝え、自宅での様子やこれまでの生活スタイルとの違いなどを把握するように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	① 令和5年10月23日(14:00~) ② 令和5年11月4日(16:50~)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	前田、荻ノ沢、地代所、柏崎、畠中、佐々木 松橋、滝野、山上

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	9人	1人	11人

#### 前回の改善計画

- ・引き続き、利用者や家族から過去の生活歴を引き出すようなコミュニケーションを行い、介護記録に残していく、各利用者担当が介護記録の見直しの際に台帳へ追記、修正を行う。
- ・地域資源について毎年、事業所内で勉強会を開き、全職員に周知できる場を作る。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者や家族から過去の生活歴を引き出すコミュニケーションはあまり取れていない。引き出した内容を介護記録に残しても台帳へ追記・修正まではできていない。
- ・必要な利用者には地域の資源を利用している。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	✓				11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	✓				11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		✓			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	✓				11

#### できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の状況、家族の要望に応じて、急であっても「通い」・「宿泊」・「訪問」の提供をして、利用変更に對しては代替日の提案もできており、さらに地域資源を活用するなど柔軟な支援ができている。
- ・利用者の変化や家族の事情は職員同士で話し、LINEWorksで発信している。

#### できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者や家族から過去の生活歴を引き出すようなコミュニケーションはあまり取れていない。コミュニケーションで引き出した内容や知り得た情報も台帳の修正まではできていない。
- ・本人や家族の変化は、報告・申し送り・LINEWorksの活用に個人差があり、報告されても周知されずに止まっていることがある。

#### 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・送迎時のコミュニケーションや連絡ノートを活用し、利用者・家族から必要な情報やニーズを引き出す。それをラインワークスで発信することにより、同時に職員間で情報を共有し検討、地域資源も活用し適切な支援をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和5年10月23日 (14:00~) 令和5年11月4日 (16:50~)
------------------	--

6. 連携・協働	メンバー 前田、荻ノ沢、地代所、柏崎、畠中、佐々木 松橋、滝野、山上
----------	--

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	5人	2人	1人	11人

#### 前回の改善計画

- ・コロナ感染症を日常ととらえ、来設者カードの活用などの感染対策をしながら、施設内のイベントに利用者家族を招く、来設者の受け入れ、と活動を広げていき地域交流祭の再開を目指す。また、地域活動等の事業所外活動にも参加・協力し、地域連携に努める。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・コロナ感染症対策を継続し、担当者会議を行ったり、「地域交流祭」を「小規模感謝祭」として家族や外部の方を招いたりし開催した。町内会の会議やイベントにも参加でき、施設備品を貸出しなど協力出来た。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		✓			11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？				✓	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	✓				11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		✓			11

#### できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・コロナ感染症対策を日々行い、他のサービス機関との担当者会議を行ったり、「地域交流祭」を「小規模感謝祭」として家族や外部の方を招き開催出来た。町内会の会議や町内会主催の普通救命講習に職員が参加し、町内会のイベントに施設の備品を貸出しするなどの協力が出来た。

#### できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自治体や地域包括支援センターの会議は案内がなかったので参加していない。

#### 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・町内会のイベントには、可能な限り参加・協力し、施設の行事に地域の方を招き入れるなどして、地域との連携を密にしていく。
- ・自治体、地域包括支援センターから参集があった場合、積極的に参加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和5年10月23日(11:15~11:25) 令和5年10月28日(15:25~15:35)
7. 運営	メンバー 前田・荻ノ沢・滝野・近藤・柏崎・木村・地代所・山上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	8人	1人	0人	11人

前回の改善計画

- ・コロナ感染症を日常として感染対策を継続しながら可能な範囲から交流を増やしていく。可能であれば、BBQ開催時等家族にも声を掛け、次に地域の方々も含め、最終的には地域交流祭の再開と段階を踏んで無理のない範囲で実施していく。
- ・日常から職員間で声を掛け合い、意見を言い合える環境作りを行う。LINEWorksの活用は全職員が積極的に行い、情報交換をこまめに行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・感謝祭として、家族、地域の方々に声を掛け安全な範囲内で実施できた。
- ・LINEWorksの活用は一部職員のみ出来ているが、出来ていない職員は運営に対しての意識が不足しており、今後指導が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?			✓		11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	✓				11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		✓			11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	✓				11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・さくらんぼ狩りの行事、4年ぶりに感謝祭を開催し地域の方や利用者家族に、参加の声掛けを行う事ができた。対面での運営推進会議では、地域の方や利用者家族参加で多様な意見を頂き改善してきている。
- ・地域の方に駐車スペースを借りたり、地域イベントでは施設所有の物品を貸し出すなどして協力できている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・運営に対しての知識不足により、意見できない職員もいる。よって、利用者や事業所に対して思いの温度差が生じている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・運営、事業所に対しての勉強会や研修に参加してもらい、知識を深め温度差を無くしていく。
- ・運営推進会議では、意見を出して頂きやすいように、より良い関係性を構築していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和5年10月23日(11:35~11:45) 令和5年10月28日(15:25~15:35)
8. 質を向上するための取組み	メンバー 前田・荻ノ沢・近藤・滝野・柏崎・木村・地代所・山上

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	3人	0人	11人

#### 前回の改善計画

- ・小規模会議時に、以前から続いている各スタッフが講師となり、その時に必要と思う勉強会を行っていく。例えば、認知症実践者研修を終えた職員が認知症の勉強会、高齢者虐待の研修を受けた職員が、同内容の勉強会を実施していく。
- ・ヒヤリハットに対しては、躊躇することなく積極的に各々が記入、LINEWorksで周知し速やかに各自が確認し繰り返し起こさないようにする。
- ・積極的に研修を受け、スキルアップを図り、職員間で切磋琢磨していく。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・積極的に研修を受け、スキルアップし知り得た情報を共有するための勉強会を実施している。
- ・ヒヤリハットは積極的に記入し繰り返さないようできている。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	✓				11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	✓				11
③	地域連絡会に参加していますか				✓	11
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		✓			11

#### できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・施設内外の研修に参加した時は、小規模会議時の勉強会で知識を共有している。
- ・ヒヤリハットを積極的に記入し情報共有している。
- ・不足している知識に関しては、施設内での勉強会を開催している。

#### できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会の案内が来ていない。
- ・外部研修は中堅の職員対象の物が多く、無資格職員や新人職員が参加出来る案内が少なく、参加職員が偏った。

#### 次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・リスクマネジメントの考え方を理解する。言葉での拘束や何気ない声掛け一つにしても、声のトーンなど、相手の目線に合わせて話す事で利用者の気持ちに寄り添えるケアが大切だと認識する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5年 10月 23日 ( 13:30~13:40 ) 令和 5年 10月 28日 ( 14:30~14:45 )
9. 人権・プライバシー	メンバー 荻ノ沢、木村、松橋、柏崎、近藤、滝野、地代所、畠中、佐々木、山上、前田

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	2人	人	11人

#### 前回の改善計画

- ・セルフチェックを継続し、意識付けをしていく。
- ・個人情報であるという意識の問題のため、毎年4月に勉強会を継続して行っていく。
- ・成年後見制度を必要とする利用者に対応出来るように各々が研修などで学ぶ。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・セルフチェックは毎月行っており、結果を基に役職者で話し合いを持ち、必要時面談を行っている。また、小規模会議の場で様々な意見や思いに応えていた。
- ・個人情報管理に対しては、意識づけされ以前よりは目につく事は無かった。
- ・成年後見制度を利用している利用者が居なかつたが外部研修に参加した職員もおり知識を得ている。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない		✓			11
②	虐待は行われていない	✓				11
③	プライバシーが守られている		✓			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している				✓	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている		✓			11

#### できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者に関する書類、名前が記入されている物等、意識し目につかない様に管理されている。
- ・セルフチェック、自事業所の勉強会等出来ており、意識付は出来たと思う。
- ・個人情報を記入しなければならない場面でも、ホールを見守りしながら、個人情報にも配慮出来る工夫をして記入している職員が増えた。

#### できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・成年後見制度を必要とする利用者が居なかつた
- ・ふとした瞬間に言葉での抑制「ちょっと待ってて。」と無意識に言ってしまう事がある。
- ・身体拘束、虐待、プライバシーに配慮をしているが、他愛のない会話で不適切ケアに繋がりそうになる場面があると思う時がある。

#### 次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ホール見守りや利用者対応方法にスキル差がある為、スキルの高い職員が指導を行い、差を縮められ「ちょっと待ってて」等の発言が発せられない環境を職員同士で切磋琢磨して作り上げていく。
- ・小規模会議に参加した職員としている職員では、次の日からの動きが違うとの事で、参加出来なかつた夜勤者、遅番者には終了後、利用者に対しての大きな決まり事等リーダーが申し送る。LINEWorksにて決まり事を発信し、細かい会議内容は役職者から各々がきちんと情報収集をする様に努め、ふとした会話でも不適に繋がらない様にしていく。